



“行事で成果があがっています！！”

校長 渡辺 宏

1 年生は、5 月 10 日（水）～12 日（金）福島県北塩原村にある裏磐梯ライジングサンホテルを利用して、裏磐梯高原で初めての宿泊行事であるフレンドシップスクールに行ってきました。また、今年度から 2 泊 3 日のスケジュールとなり、入学して約 1 カ月間という短い期間で準備をしなくてはならない条件ではありましたが、生徒たちはとても楽しみにして取り組んで来ました。

「どのようにこの 3 日間を乗り切っていこうか」といった不安な気持ちと、杉並区を離れて友だちと宿泊できる楽しみとが複雑に入り混じるような心境で初日の集合時間を迎えたことでしょう。

初日は、～白虎隊の学び舎～であった会津藩校日新館に行きました。この学舎は、「教育は百年の計にして会津藩の興隆は人材の養成にあり」との計画によりつくられました。江戸時代全国三百藩校の中でも規模や内容が随一と謳われ、当時入学前の 6 歳～9 歳までの子どもたちへ徹底的に教え込まれた「什の掟」や「当時の武士の子どもたちがどのようなことを学んだのか」を、そして、「ならぬことはならぬ」の精神を学ぶことができました。

その後磐梯山噴火記念館では、館長の佐藤公先生に火山や磐梯山の噴火がもたらした自然の変化。さらに、溶岩の粘度により噴火の在り方の違いの実験を体験させていただきました。さらに、磐梯山 3D ワールドでは、全円周立体映像により、臨場感あふれる磐梯山の大噴火の再現を体験することができました。

2 日目は昨年と同様に運動会の学年種目である“いかだ流し”の練習では、「船頭さんを誰にしたらよいのか」の話し合いなど、試行錯誤を繰り返しながら自分たちの方法でしっかり決定させていました。

また飯盒炊さんでは、東京であればこの時期にとっても遭遇できないような風雨と低温の悪条件のもと、班毎に協力して火起こしや野菜切り、また、お米を研ぐなど、手がかじかみ思うように作業がはかどらない状況でありました。しかし、どの班も協力してこなしした成果は、とても美味しいカレーライスを食べることができました。当然、後片付けも見事というしかありませんでした。

3 日目は閉校式後に白虎隊が悲劇の最後を遂げた地「飯盛山」と「鶴ヶ城」を訪れ、ガイドさんの案内のもと、会津若松の歴史を学び、昼食後東京に向け出発しました。

宿泊先では、生徒同士がお互いにコミュニケーションを取り合い、新しい仲間と協力して様々な内容の活動に、“明るさの中にもけじめ”をもって何事にも前向きに取り組んでくれました。また、往路と復路のバス車内の雰囲気が大きく異なり、生徒同士の関係の深まった微笑ましい姿が随所に感じられ、新たな人間関係が成り立った仲間ができ、フレンドシップスクールの目的が達成できたとても価値のある内容の宿泊行事となりました。

学校は、6 月 3 日（土）に開催予定の第 68 回運動会に向け、全校一丸となって突き進んでいます。新しい環境で頑張っている原中生。ハードな生活の延長で、心身ともにかなり疲れを感じている状況です。晴れた日が多く順調に練習を積重ねることができておりますが、“初夏を感じさせられる陽気”といった日が続いており、熱中症にならないよう十分に注意しています。

さて、運動会実行委員会が掲げた今年の全体スローガンは“精神一到”。団のスローガンは、赤団（A 組）“赤華皆咲”と白団（B 組）“勇往邁進”です。

“応援団”の練習にもかなり熱が入ってきました。5 月 25 日（木）の 16：00～視聴覚室にて、団員を決定する“ソーラン節オーディション”が開催されました。A グループ～G グループまで、約 96 名のグループ別発表会を行い、全員が採点者となり運動会当日にソーラン節を舞う応援団員を選考し合いました。

今年も各クラスの実行委員を中心に“運動会”がつくり上げられ、入学式から 2 カ月も満たない 1 年生もすっかり中学生らしくなり、順調な成長を感じております。

保護者・地域の皆さまにはお休みのところ申し訳ございませんが、6 月 3 日（土）の“運動会”にご来校いただき、原中生の純粋で誠実に取り組む姿に、大きな応援とご声援をよろしくお願ひいたします。

“中学生レスキュー隊員募集中”

中学生レスキュー隊は災害時に役立つ知識・技能を身に付ける活動を通して、中学生の防災意識と地域に対する貢献意識の向上を図ることを目的として平成17年度に発足し12年目を迎えました。杉並・荻窪二つの消防署よりご支援をいただき、専門的な知識の習得や防災施設見学会等、隊員の自己有用感を高めるために様々な活動が経験できます。この機会に中学生レスキュー隊員となり、災害や緊急時に活躍してみませんか。

昨年より、杉並消防署の訓練棟を使い、杉並消防署レスキュー隊員の方々より直接指導を受け、ロープ渡過、高所より地上への降下、スタンドパイプ放水等体験できるようになり、また防災施設の見学会等、日常体験できない貴重な機会を得るチャンスです。区内23校すべての中学校に編成されています。

発足式と第一回合同訓練：平成29年7月9日（日）9時～阿佐ヶ谷中学校アリーナ

“杉並区中学校生徒会サミット”について

昨年度、杉並区立小・中学校では生徒会や児童会を中心に、生徒たちの手で“明るい学校づくり”を目指した“杉並区小・中学生未来サミット”が開催されました。

本年度も7月29日（土）に、第2回“杉並区小・中学生未来サミット”が開催されます。当日は、1分区（天沼中、中瀬中、井荻中、井草中、荻窪中）5校それぞれの学校と関係のある小学生が、取組について発表する予定になっております。大切に進められてきた取り組みを発表し合います。そのための準備は、各学校の生徒会役員会を中心に準備しておりますが、詳細が分かり次第お知らせいたします。

5月・6月はいのちの教育月間です。「いじめ」は“絶対にあってはならないこと。許されるものではないこと”を常々全校生徒に訴えております。いつも、皆さんは真剣に聞いてくれています。

“いじめの定義”（いじめ防止対策推進法第2条）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

“いじめの定義”を一人一人の生徒がしっかり読み取り理解して、これからも「いじめが無く居心地のよい素晴らしい東原中学校」にしていく努力をつなげていきましょう。友だちとの関係で、「自分が困ったり」また、「友だちが困っていることに気が付いた」時は、勇気をもってお家の方や先生、また、スクールカウンセラーに相談しよう。必ず皆さんの力になります。

☆同窓会より寄贈していただきました“応援団のはっぴ”、今年も活躍させていただきます。

“運動会”に向け全校一丸となって練習している現在。“応援”の練習にもかなり熱が入ってきました。そこで、本番で発表する時に着用するはっぴですが、何と創立65周年を記念して同窓会より寄贈していただいた貴重なものです。とてもカッコイイデザインです。

5月25日（木）16:15～第68回運動会応援団ソーラン節オーディションが開催されました。エントリーしている生徒全員が真剣に臨み、お互いを評価し合う姿に感動いたしました。当日の発表がとても楽しみです。さらに、今年も同窓会の方のご尽力により、杉並区役所からもはっぴをお借りしていただきました。ありがとうございます。

☆お詫びと訂正

学校だより4月号の、「8退職・異動教職員」ですが、退職：・山下永莉産休代替教諭（区費）のお名前を山下瑛莉産休代替教諭（区費）と、謝って表記してしまいました。申し訳ございません。お詫びをもって訂正させていただきます。